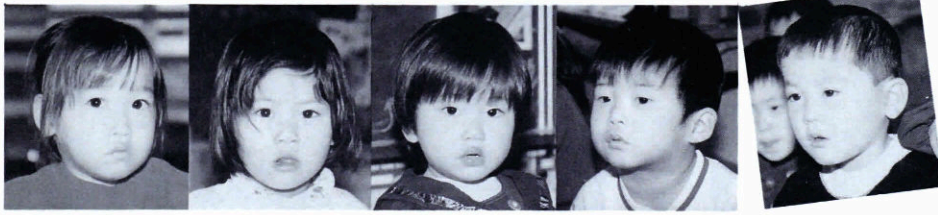


ゆやの子わいわいスナップ!



みんなのひろば

くらすめ～る  
学級通信 伊上小学校3年

担任：斎木 亮子先生  
児童：11名

「ゆびも達し共」



「おはようございます。」  
一九九七年が、このさわやかな声で幕を開けました。  
伊上小学校の三年生十一名。女子五名、男子六名は、明るく元気いっぱい、寒さをふきとばして、毎日運動場を走り回っています。昼休みが近づくと、  
「今日は、何して遊ぶ?」と、着々と遊びの計画が立ち、体もうずうずするようです。  
その一方で、約四ヶ月かけてヒマワリを一人一本ずつ大切に育て、花を咲かせること

を成功させました。それまでの鳥や花などの世話に加えてのことですから負担が心配だったので、毎日たつぷりの水を自分の株に、友達のものもかけてあげ、夏の暑さも乗り越えました。今は、水栽培のヒヤシンスの変化に一喜一憂し、じつとにらめっこしながら育てています。  
そんな子ども達の頑張りが私自身をも支えてくれているような気がします。今日も明るく「さようなら」と言えるように頑張りたいと思います。

歳時記

ウグイス

鶯や障子うぐいすしやうじあくれば東山

夏目漱石

春の朝でしようか。その情景が目浮かぶような句です。でも最近、湯の宿などで

ウグイスの声で目覚め、窓を開けても姿はなく、宿の建物の中のBGM(バックグラウンドミュージック)だったなんていうこともありま

す。  
ご存知のように、ウグイスは日本人に最も親しまれている鳥の一つです。それだけに、いろ

いろな名があります。春鳥、春告鳥、匂におい鳥、歌詠み鳥、花見鳥など、どれも美しい名です。昔はウグイス合わせなどといって、ウグイスの声を競う行事があったようです。ウグイスは、日本各地で見ることが出来ます。漂ひょう鳥ちよう(季節によって狭い地域を移動す



る鳥)の一種で、冬は平地に下り、夏は山地の低木林などに移ります。春の初めに鳴き始めますが、最初はささ鳴きといつて、「チャツ、チャツ」と鳴き、やがて「ホーホケキヨ、ケキヨ、ケキヨ」と上手に鳴きます。これをウグイスの谷渡りとい

います。  
暖かい地方では、そろそろ梅の開花やウグイスの初鳴きが待たれる季節になりました。しかし、まだまだ寒い日が当分続きそうです。健康には十分注意しまし

ょう。

二月一〜七日は「成人病予防週間」です。がん、心臓病、脳卒中などいわゆる三大成人病による死亡者は、死亡総数の約六割を占めています。定期的に健康診断を受けることが大切です。